



高松 誠 TAKAMATSU Makoto

職名	准教授
担当科目	児童福祉論Ⅰ 児童福祉論Ⅱ 児童養護論 ヒューマンケア基礎実習 ケアワーク演習・実習 ソーシャルワーク演習・実習 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク専門演習Ⅱ
学歴	上智大学神学部神学科卒業 上智大学大学院神学研究科博士前期課程修了 岩手県立大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了
学位	博士(社会福祉学) 修士(神学・社会福祉学)
主な職歴	私立盛岡白百合学園中学高等学校 宗教科/地歴公民科教諭・非常勤講師 北日本医療福祉専門学校子どもマイスター養成科教員 岩手県教育委員会盛岡教育事務所付スクールソーシャルワーカー 佐久大学 准教授 現職
研究分野/Keyword	子ども家庭福祉/英国における子ども家庭福祉実践史/キリスト教社会福祉史
主要著書・ 学術論文	<ol style="list-style-type: none">高松誠(2024)「社会福祉学における歴史分析」方法についての一考察—社会福祉実践と歴史学との交錯の中で—『東北社会福祉史研究』42, 15-23.高松誠(2023)「社会福祉の歴史研究」再考—その役割と意義—『中国四国社会福祉史研究』22, 1-2.高松誠(2023)「長野県の子ども家庭福祉のあゆみ」『2023 長野県の子ども白書』長野県の子ども白書編集委員会, 2-93.高松誠(2023)「愛国婦人会長野支部の児童愛護運動における歴史的役割—児童愛護運動の前史としての明治期の活動について—」『東北社会福祉史研究』41, 49-57.高松誠(2023)「長野県の社会的養育の現状と課題—社会が子どもを養い育てることの意味」『2022 長野県の子ども白書』長野県の子ども白書編集委員会, 90-91.高松誠(2022)「V 実践史という視座。十九世紀後半の英国児童福祉実践史研究の方法論に関する一考察—ドクター・バーナードホームの実践史研究の成果を踏まえて—」『戦後社会福祉の歴史研究と方法—継承・展開・創造 第2巻<理論・総括>』(社会事業史学会創立50周年記念論文集刊行委員会(編).) 559-585.近現代資料刊行会.高松誠・菊池義昭(2022)「長野県での児童愛護の運動と愛国婦人会長野支部の歴史的役割—大正期の動向と健康長寿県の源流を求めて—」『東北社会福祉史研究』40, 27-37.高松誠(2020)「福祉・家庭・教育の連携における『少年の福祉を害する犯罪』への対応—英国の子どもの性的搾取予防実践に着目して—」『東北の社会福祉研究』16, 25-37.高松誠・菊池義昭(2020)「昭和戦前期の岩手県における乳幼児愛護週間の実践とその史的展開」『東北社会福祉史研究』38, 82-97.高松誠(2019)「第2次世界大戦後における岩手県の保育体制整備に関する史的考察」『東北社会福祉史研究』37, 17-25.Barnardo's 編著/高松誠訳(2017)「Start Well 年次報告書 2013-2014—Barnardo's の性の健康へ向けた介入サービス」『平成28年度 英国のボランティア団体におけるソーシャルワーク実践に関する研究報告書』(岩手県立大学社会福祉学部プロジェクト研究)10-27.高松誠(2015)「ドクター・バーナードホームにおける子どもの監護権をめぐる裁判事例—ハリー・ゴセージケースを例として—」『石井十次資料館研究紀要』別冊Ⅲ, 199-213.

13.高松誠(2012)「ドクター・バーナードホームの児童救済事業-年次報告書を通してみた事業内容-」『社会事業史研究』41, 41-53.

所属学会

日本社会福祉学会, 日本心理学会, 社会事業史学会, キリスト教社会福祉学会, イギリス女性史研究会, 東北社会福祉史研究連絡会, 牧会カウンセリング研究会.

**主な社会
貢献活動**

長野県子ども支援センター特別調査員(2021-2024年), 2021年度佐久大学公開講座講師, 東北社会福祉史研究連絡会事務局長, 講師: 仙台白百合学園中学校修養会講師(2018-2024年), 岩手県立大学国際シンポジウム国際セミナー講師(2018年)

**出前授業
テーマ**

- ①「子ども家庭福祉の歴史」「乳幼児愛護デーの歴史的発展と長野県の健康政策」
- ②「子どもの心をととのえかたーマインドフルネスを参考にして」
- ③「歴史史料との出会いー調べ方と読み方」

E-mail

m-takamatsu@saku.ac.jp △を@に変えて送信して下さい